

# 資料編

# 1

## 策定の経緯

札幌市多文化共生・国際交流基本方針の策定にあたっては、市民への意識調査やワークショップを実施し、多文化共生などに係る現在の外国人市民・日本人市民が抱える課題などを把握するとともに、有識者や外国人コミュニティ関係者、公募委員等から構成する「(仮称)国際交流・多文化共生基本方針検討会議」を設置し内容の検討を行ってきました。

年	月		検討・策定経緯
2022年 (令和4年)	4月	市民アンケート	外国人市民日本語力調査の実施 ※実施結果の概要は第4章1—②に掲載(P30~31)
	6~7月	市民アンケート	多文化共生市民意識調査の実施
	7月2日 7月30日	市民ワークショップ	市民ワークショップの実施
	12月	検討会議	第1回(仮称)国際交流・多文化共生基本方針検討会議 ・札幌市の現況及び取組、基本方針策定の基本的方向性など ・基本方針策定に係り本年に実施した市民参加事業について
2023年 (令和5年)	1月	検討会議	第2回(仮称)国際交流・多文化共生基本方針検討会議 ・基本方針骨子(素案)について
	3月	検討会議	第3回(仮称)国際交流・多文化共生基本方針検討会議 ・基本方針骨子(案)について
	7月	検討会議	第4回(仮称)国際交流・多文化共生基本方針検討会議 ・(仮称)札幌市多文化共生・国際交流基本方針(原案)について
	9月	検討会議	第5回(仮称)国際交流・多文化共生基本方針検討会議 ・(仮称)札幌市多文化共生・国際交流基本方針(素案)について
	12月	市議会	札幌市議会総務委員会 ・札幌市多文化共生・国際交流基本方針(素案)を報告・審議
2024年 (令和6年)	12月~ 2024年 1月	パブリックコメント	パブリックコメントの実施
	3月		札幌市多文化共生・国際交流基本方針の策定・公表

## (1) (仮称) 国際交流・多文化共生基本方針検討会議 委員名簿

&lt;五十音順、敬称略、2023年(令和5年)10月時点&gt;

氏名	所属
あべ ひろゆき 阿部 裕之 (第4回～第5回委員)	独立行政法人国際協力機構 (JICA) 北海道センター 所長
いしまる たく 石丸 卓 (第1回～第3回委員)	独立行政法人国際協力機構 (JICA) 北海道センター 前所長
いのうえ ひろふみ 井上 博文	北海道国際理解教育研究協議会 事務局長 札幌市立手稲東中学校 校長
うさみ れいこ 宇佐美 礼子	公募委員
たかはし あや 高橋 彩 (座長)	北海道大学 理事・副学長 高等教育推進機構 教授
ちよん ぎよん 全 璟	公募委員
トン ヌー ジェム トゥー	在北海道ベトナム人協会 副会長 FIT サポート合同会社
なかがわ しょういち 中川 昭一	豊平地区町内会連合会 会長
につう のぶこ 二通 信子	一般社団法人 北海道日本語センター 代表理事
みやいり たかし 宮入 隆	北海学園大学経済学部 教授
よう えき 楊 懌	北日本中国留学人員友好联谊会 名誉会長

## 3

## 国際交流・多文化共生市民意識調査（抜粋）

基本方針の策定にあたって、多文化共生や国際交流に係るご意見や考え方を把握するため、日本人市民及び外国人市民を対象とした市民意識調査を実施しました。

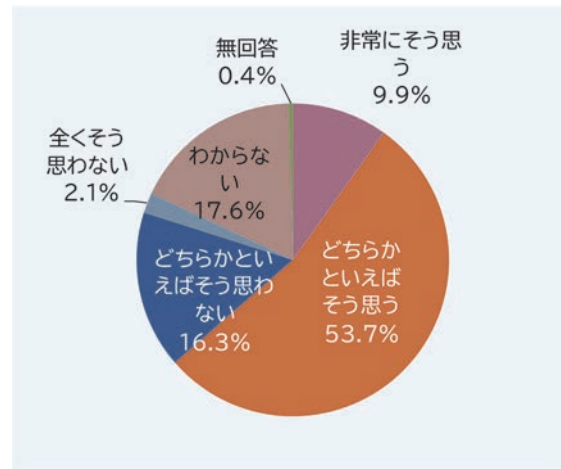
## (1) 調査概要

項目	内容
調査対象地域	札幌市全域
調査対象	札幌市に住民登録を行っている18歳以上の日本人市民及び外国人市民のうち、区ごとの居住人数による層化抽出した日本人市民2,000人、外国人市民2,000人
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>●配布：郵送</li> <li>●回収：郵送及びWEB上のアンケートフォームによる回答</li> </ul>
調査期間	2022年（令和4年）6～7月
調査票の言語	日本語、やさしい日本語、英語、中国語（簡体字）、韓国語、ベトナム語
回収数 回収率	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本人市民500件（回収率25.0%）</li> <li>●外国人市民272件（回収率13.6%）</li> <li>●全体回答数772件（回収率19.3%）</li> </ul>
外国人市民の 言語別回収数	英語101件 やさしい日本語84件 中国語（簡体字）45件 ベトナム語23件 韓国語19件
調査結果 報告書 URL	<a href="https://www.city.sapporo.jp/kokusai/documents/questionnaire_result.pdf">https://www.city.sapporo.jp/kokusai/documents/questionnaire_result.pdf</a>

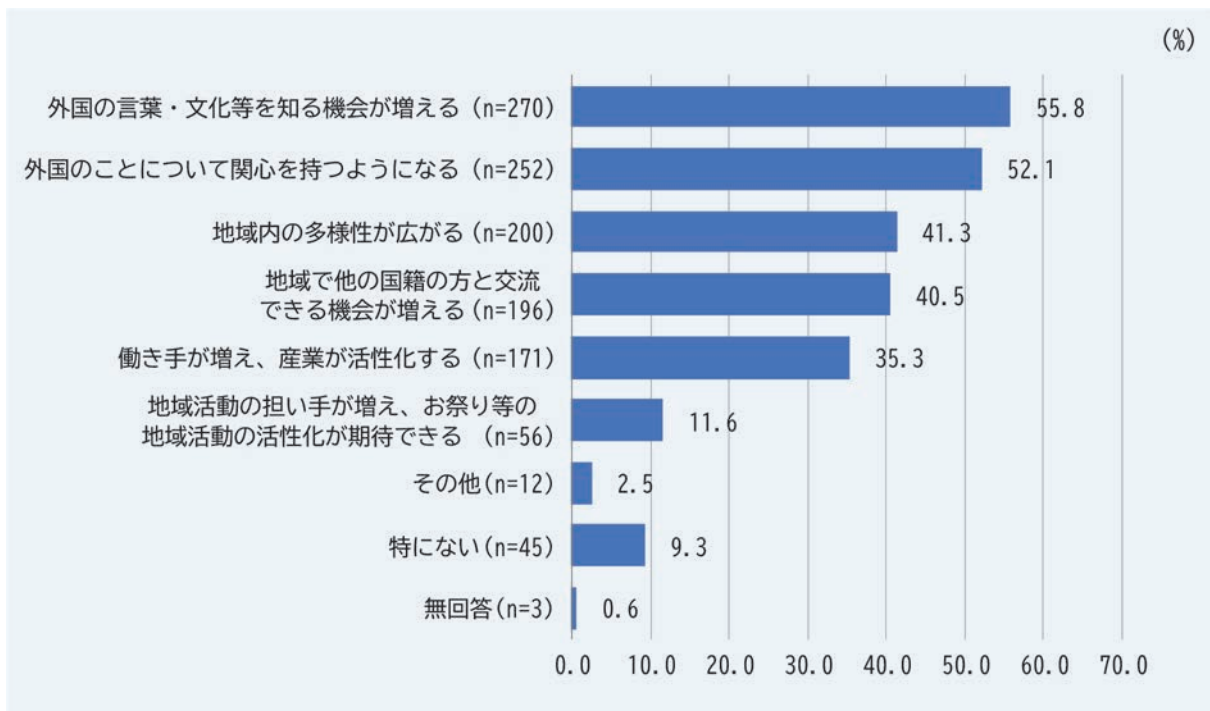
## (2) 回答結果

### 日本人市民向け調査

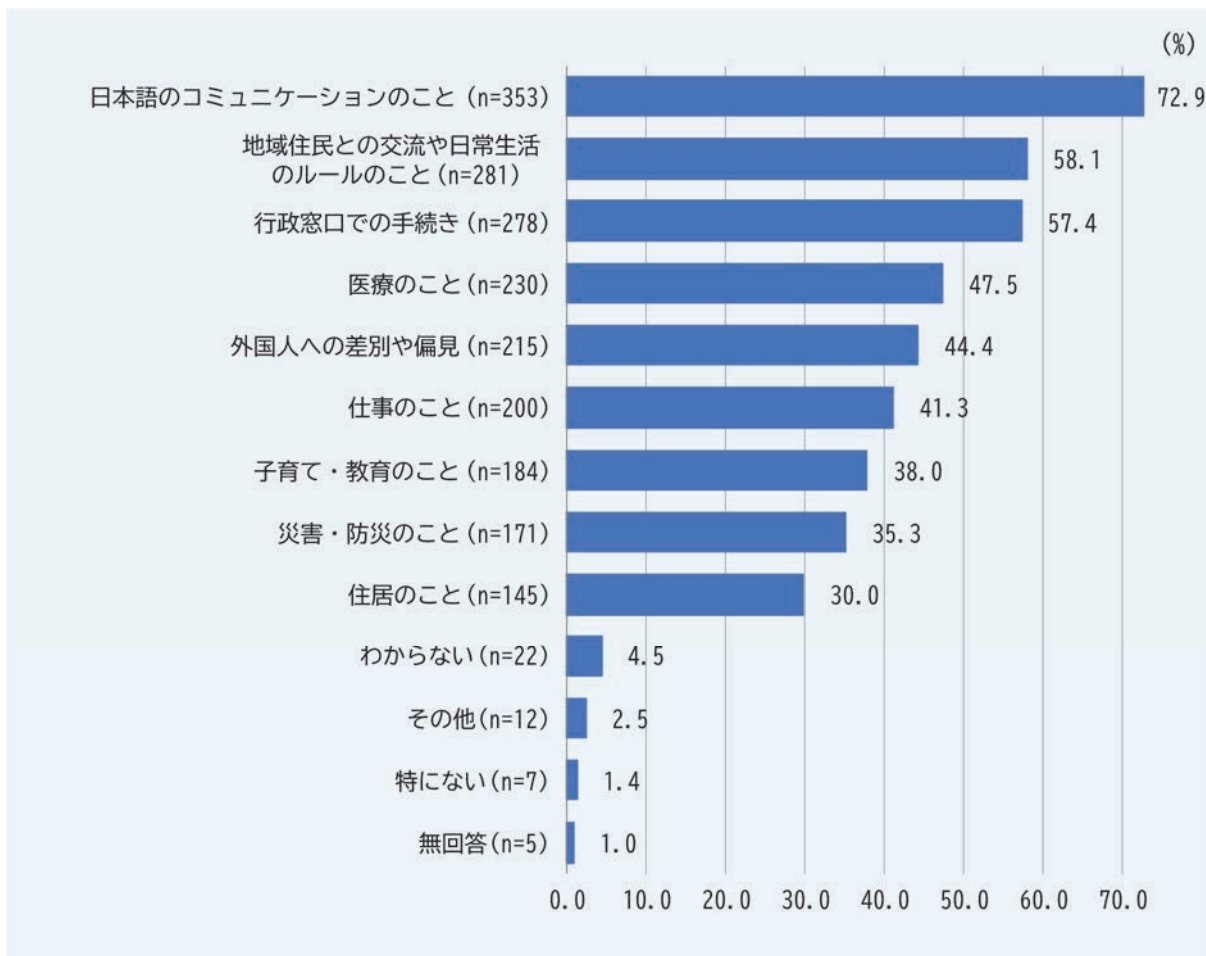
問1 札幌市は国籍などに関係なく暮らしやすいまちだと思いますか



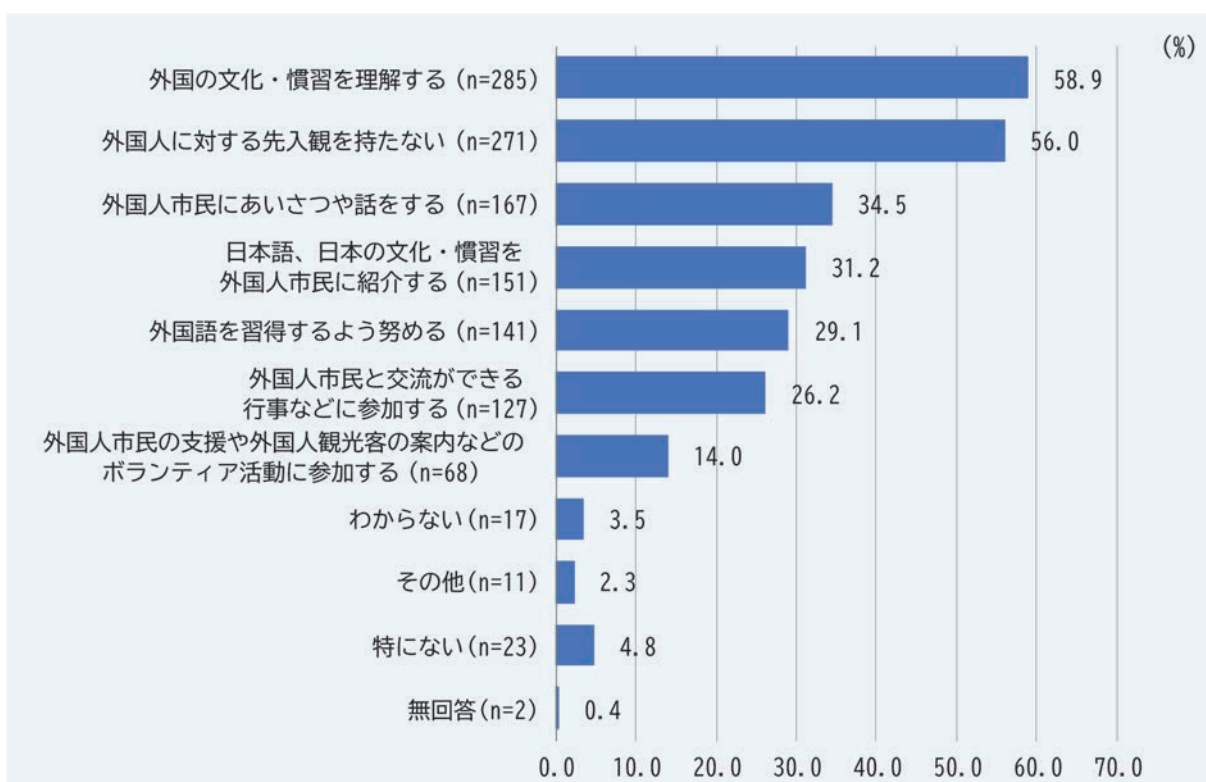
問2 外国人市民が増えることにより良くなることは何だと思いますか



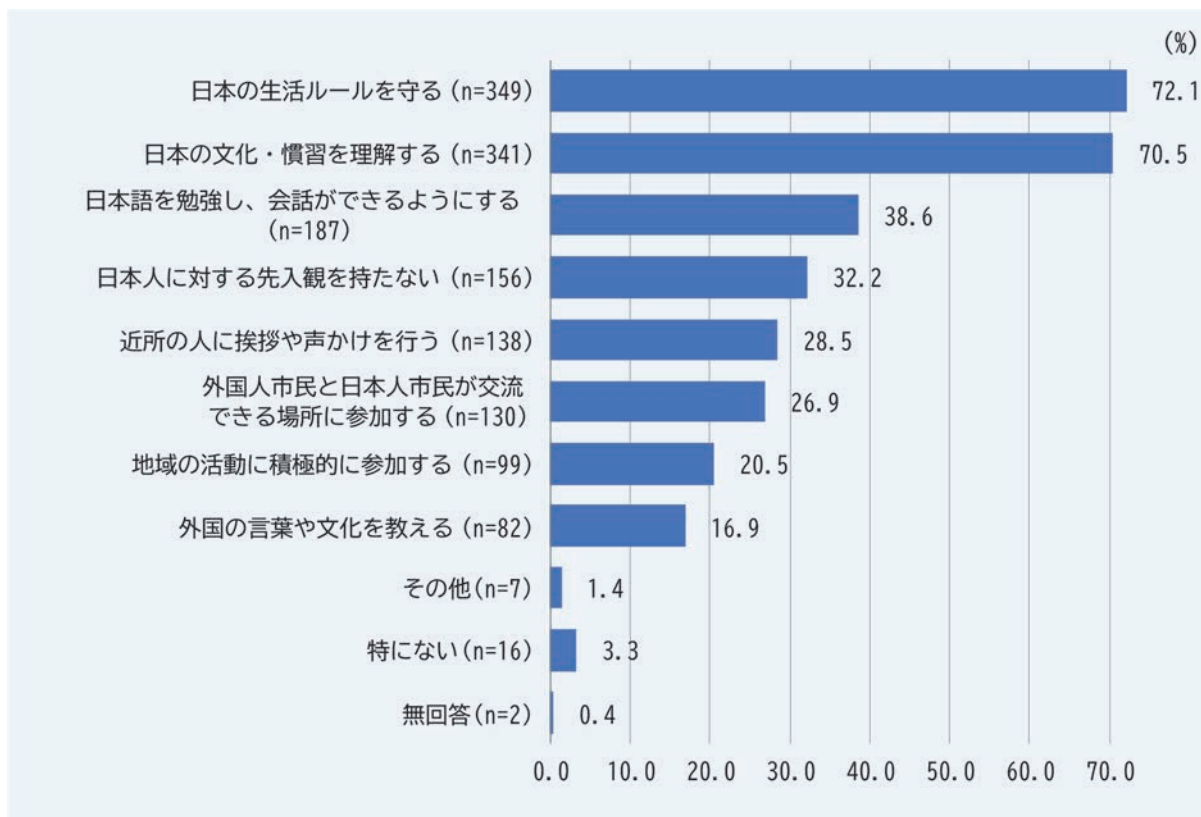
問3 外国人市民が困っていたり、不安に感じていたりすることは何だと思いますか



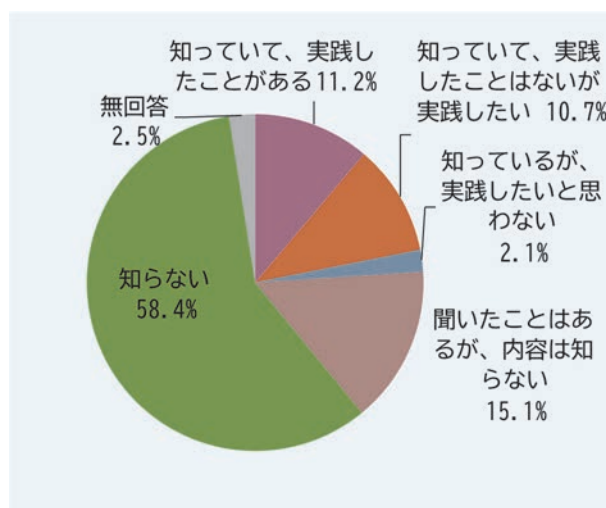
問4 日本人市民も外国人市民も暮らしやすい社会にするために、あなたができることは何だと思いますか。



問5 日本人市民も外国人市民も暮らしやすい社会にするために、あなたが外国人市民に望むことや期待することは何ですか。



問7 やさしい日本語を知っていますか。また、実践したことがありますか。

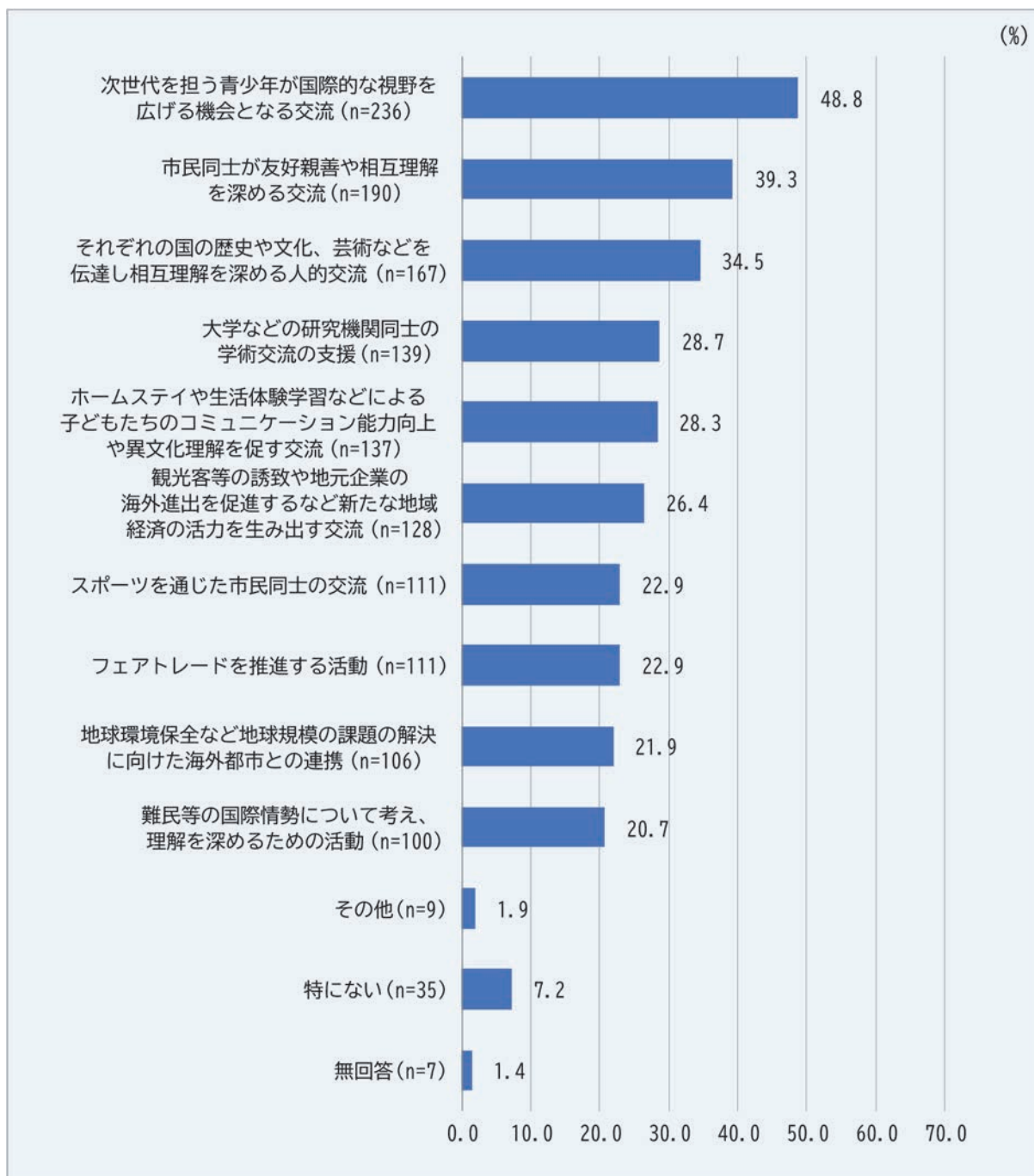


問8 あなたは札幌市及び公益財団法人札幌国際プラザが多文化共生社会を実現するために力を入れるべきことは何だと思いませんか。

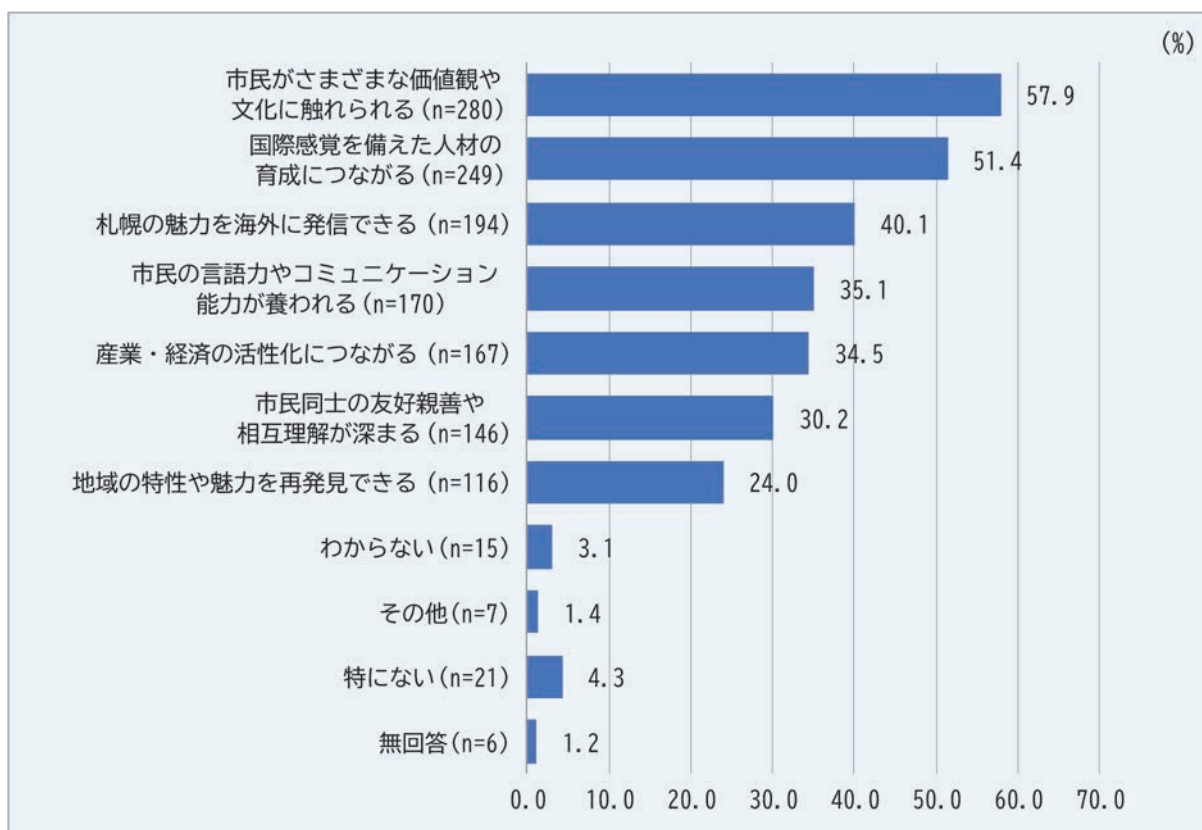




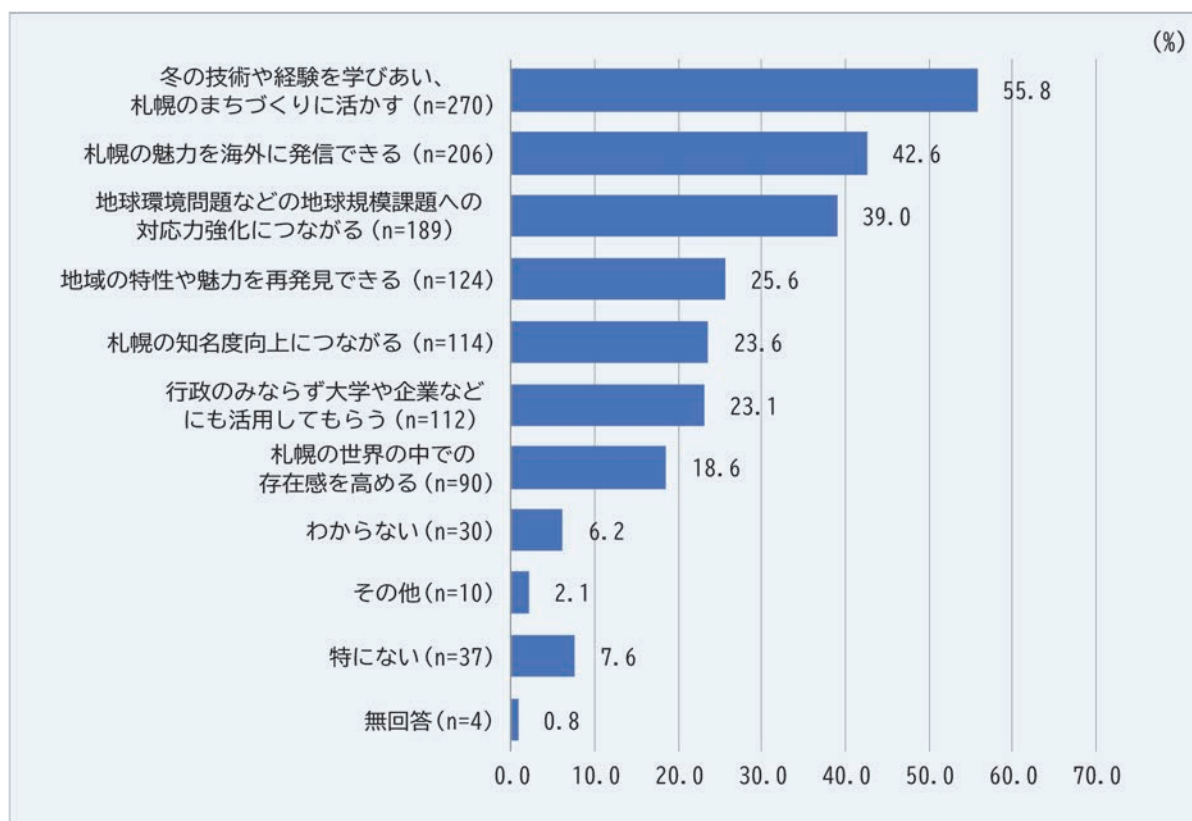
問 13 あなたは札幌市に今後、どのような国際交流や国際協力の取組を行っていく必要があると思いますか。



問 14 国際交流を行うことによる効果として、あなたが期待することは何ですか。

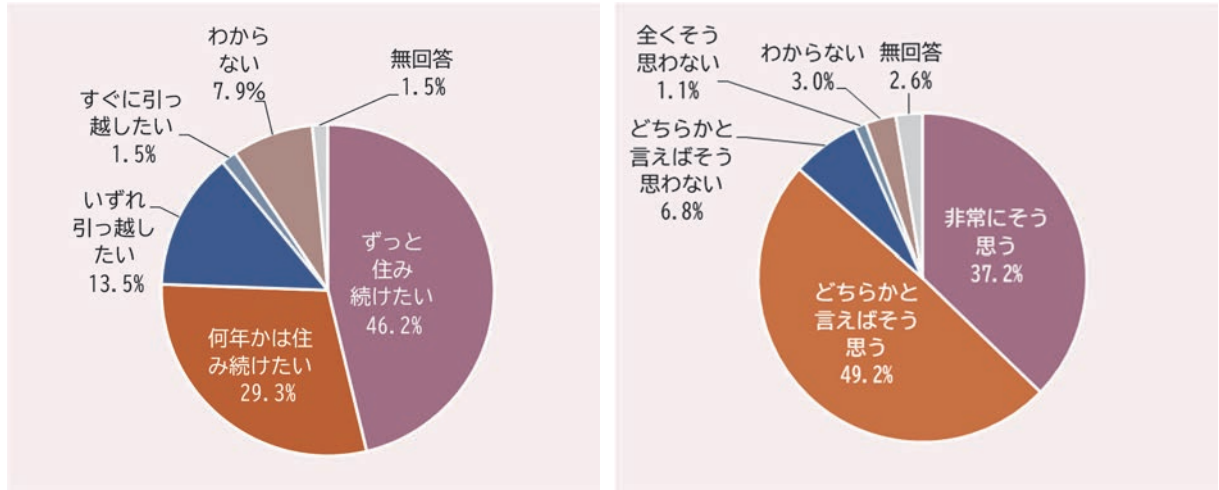


問 15 札幌市は世界冬の都市市長会の事務局を担っています。あなたが世界冬の都市市長会に期待することは何ですか。

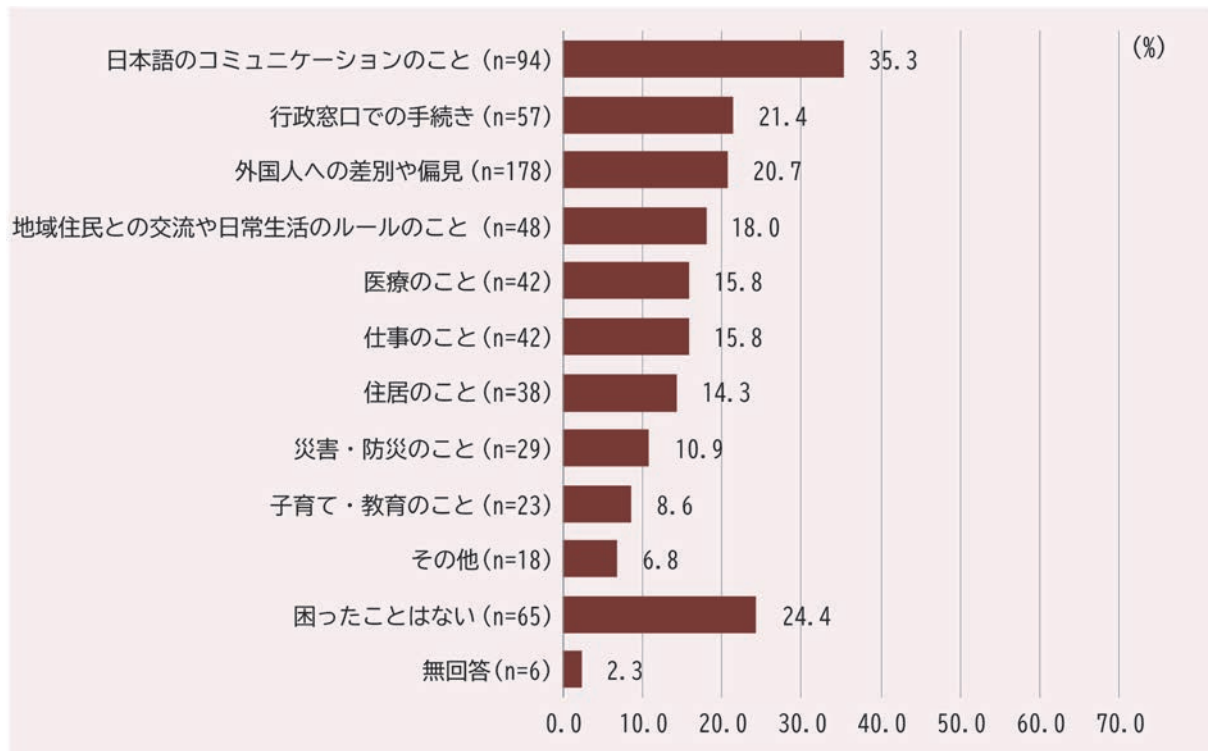


外国人市民向け 調査

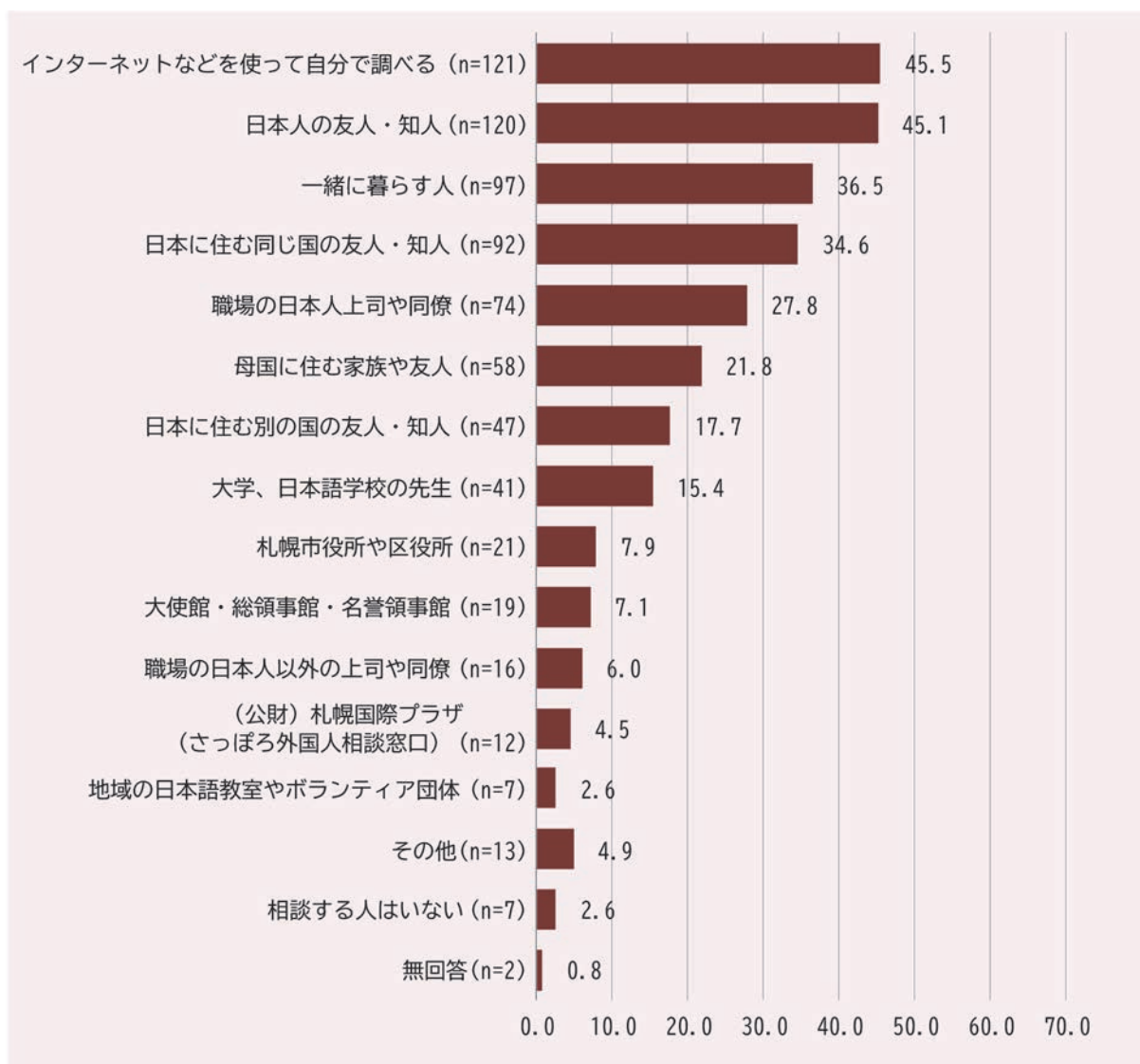
問2 札幌市に住み続けたいと思いますか。問4 札幌市は国籍に関係なく住みやすいまちだと思いますか。



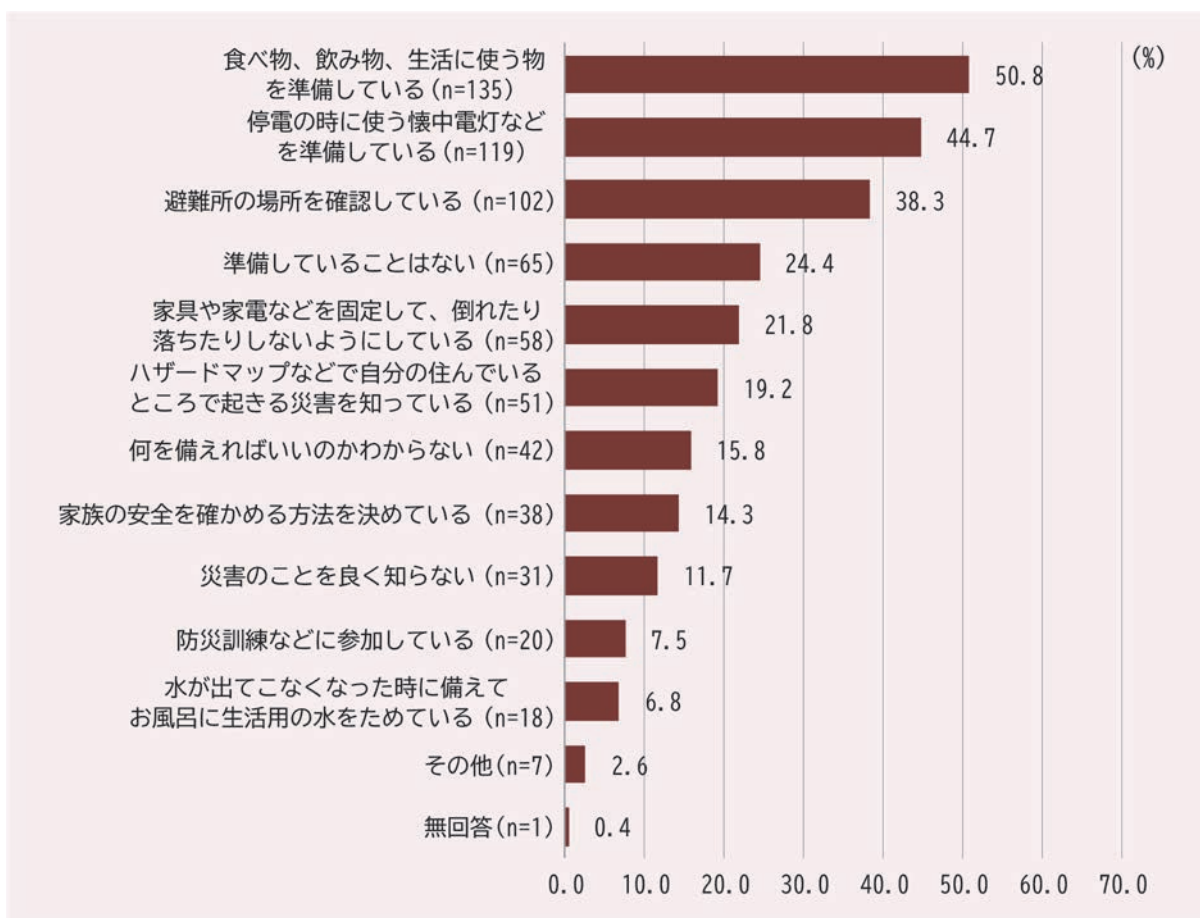
問5 日本や札幌での生活で困っていること、心配なことは何ですか。



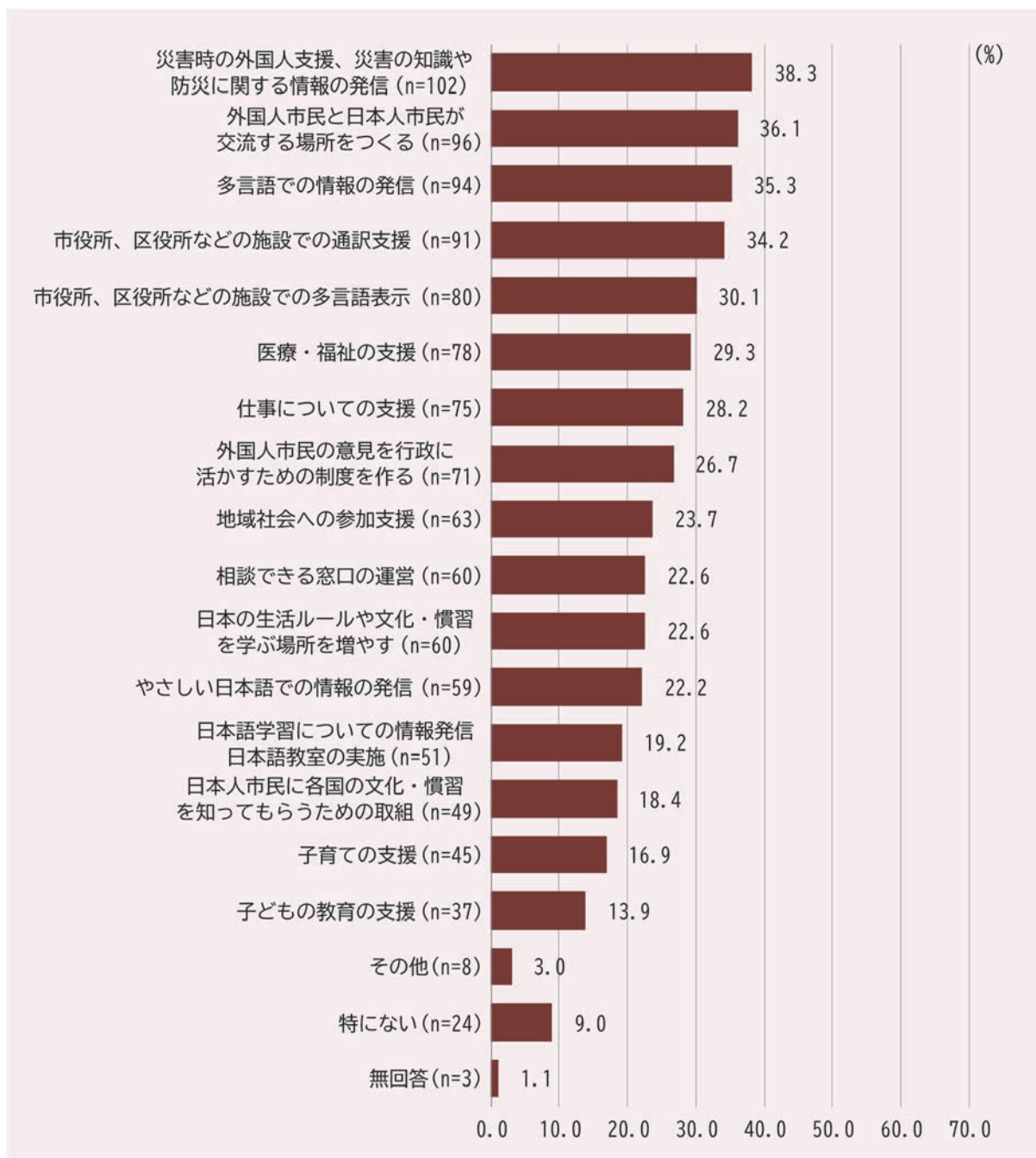
## 問7 生活で困ったときに相談する人は誰ですか。



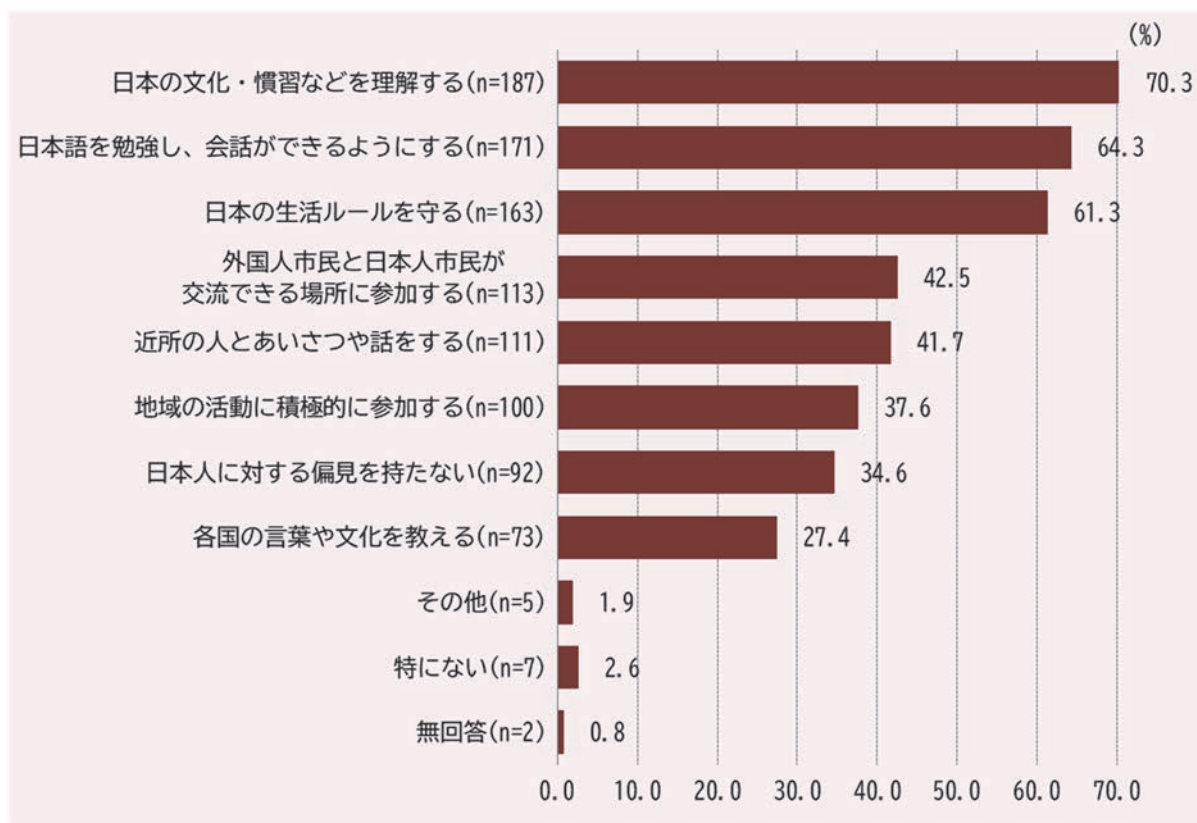
問9 日本では地震や洪水、大雨などの災害が起きます。災害の時に備えていることはありますか。



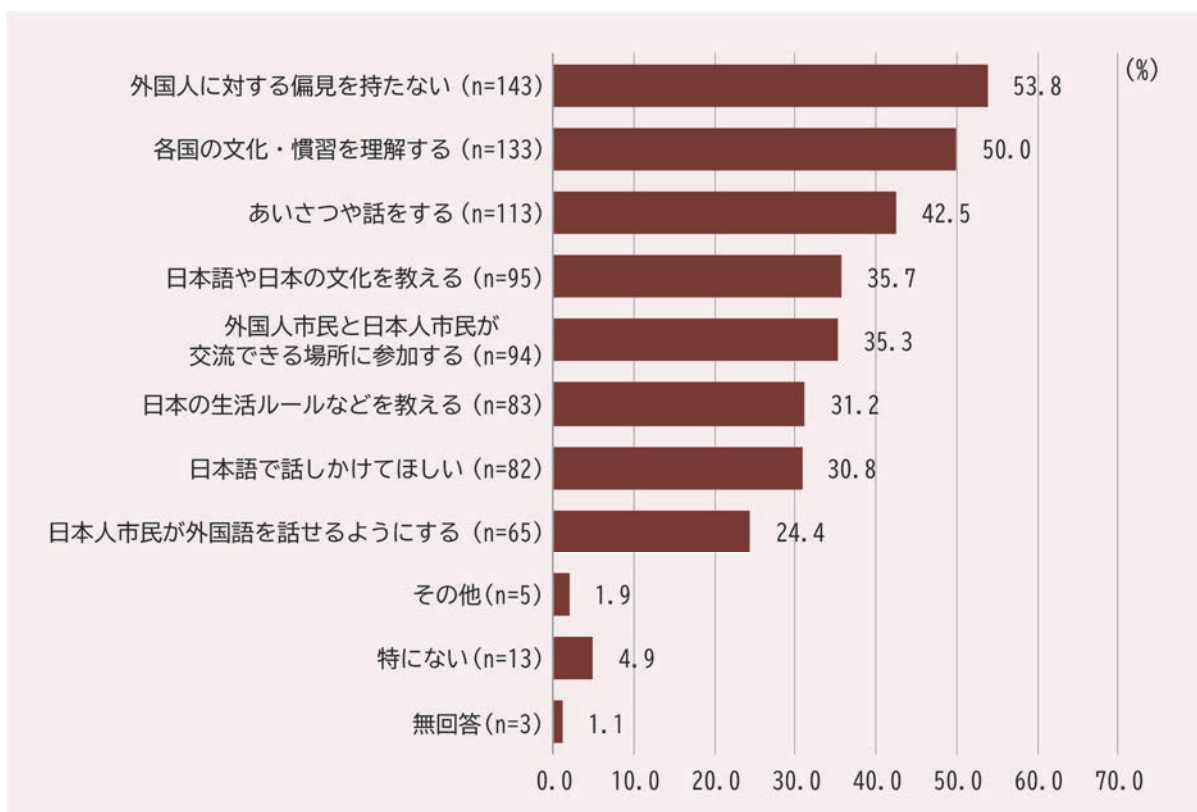
問 10 札幌市の多文化共生に関する取組でもっと頑張りたいと思うものを選んでください。



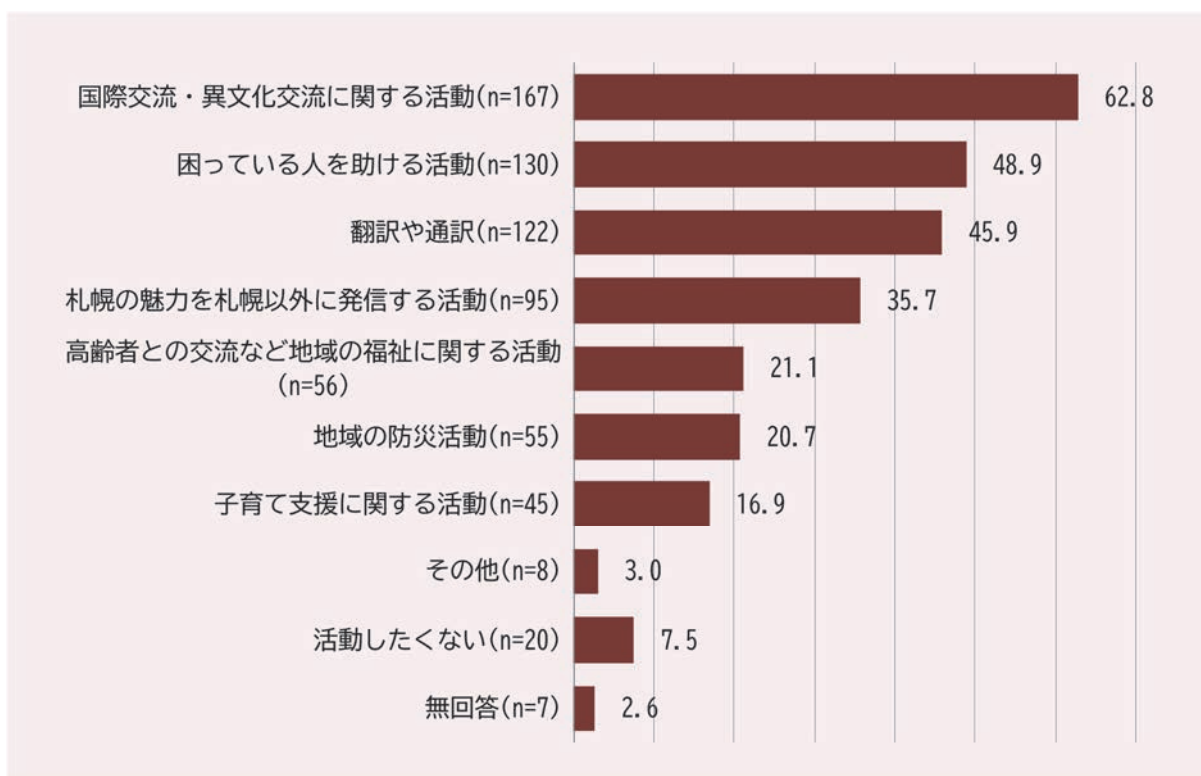
問 12 外国人市民と日本人市民がお互いのことをよく知るために、あなたができることは何だと思いますか。



問 13 外国人市民と日本人市民がお互いのことをよく知るために、日本人にしてほしいことは何ですか。



問 17 札幌のまちづくりや地域のためにどんなことをしてみたいですか。





# 4

## 市民ワークショップ

基本方針の策定にあたって、その課題や在り方を検討するため、市民ワークショップを開催しました。

### (1) ワークショップの進め方

参加者を5～6人程度のグループに分け、各グループにおいて下記のテーマについて話し合いを行っていただきました。

開催概要	テーマ	参加者
<b>第1回</b> 2022年（令和4年） 7月2日（土） 14:00～16:00 札幌市役所本庁舎 12階 1～3号会議室	●テーマ1 札幌市の好きなおところ ●テーマ2 札幌市の不便なおところ ●テーマ3 日本人市民との交流機会	外国人市民 13名  Aグループ：5名 Bグループ：5名 Cグループ：3名
<b>第2回</b> 2022年（令和4年） 7月30日（土） 14:00～16:00 札幌市役所本庁舎 12階 1～5号会議室	●テーマ1 外国人市民の困りごと、不安 ●テーマ2 日本人市民と外国人市民が共に協力し築く地域社会 ●テーマ3 多文化共生社会の実現に向けた札幌市の取組	31名 外国人市民 14名 日本人市民 17名  Aグループ：5名 Bグループ：5名 Cグループ：6名 Dグループ：5名 Eグループ：4名 Fグループ：6名



## (2) ワークショップで出された主な意見

### 第 1 回

7月2日（土）外国人市民 13 名

#### テーマ 1 / 札幌市の好きなところ

##### 環境

- 町が大きくもなく、小さくもない。ちょうどいい。人が少なく、暮らしやすい
- 緑が多い。空気がいい。母国と比べて夏も涼しく暮らしやすい。
- 便利な大きい町でありながら、緑が多く、自然を身近に感じる。
- 札幌が大好きで特に町並みが好き。道路がまっすぐ通っていて、上からみると美しい。
- 自然がきれいで、夏も涼しい。さっぽろ雪まつりなどは、札幌ならではの魅力もある。

##### 食べ物

- 魚やお寿司がおいしい。

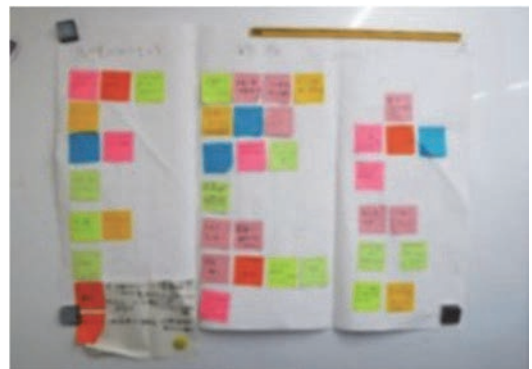
##### 人

- 人が優しい。道を尋ねたら場所を教えてくれたのみならず目的地まで同行してくれた。

#### テーマ 2 / 札幌市の不便なところ

##### 行政

- 業務の効率が悪い。デジタル化が遅い。  
手続きが面倒。
- 行政に声が届かない。届ける方法を知らない。
- 情報の周知等は、紙でもらってもすぐ捨ててしまうので、デジタル化が遅い。



##### 言葉

- 難しい言葉にふりがなを振るような「やさしい日本語」は外国人にやさしいとは思わない。
- 尊敬語や謙譲語、くどい話し方を理解するのが難しい。
- 病院等では日本語しか通じないので、1人で行けない。
- 自分の主張をすると、和を乱したと思われる。



## 生活

- 除雪が大変。
- ゴミの分別が難しく、なかなか覚えられない。特に大型ごみを捨てるのが難しい。
- バス停の場所がとてもわかりづらい。
- 冬は家の中が寒い。暖房代も高い。冬はつらい。
- 家を借りる際に保証人を求められたり、SIMカードを購入する際に電話番号を求められたりして、戸惑いを感じる。
- 銀行口座の開設手続きは時間がかかる。

## 偏見・差別

- 自分を1人の人間ではなく、国籍という色で常に見られている。
- 外国人という理由のみで、賃貸住宅を拒否された。
- 日本生まれ日本育ちの子供でも外国人扱いされる。

## テーマ3 / 日本人市民との交流機会

### 交流の機会

- ママ友を通してたくさんの友達ができる。
- 仕事以外の交流相手があまりいない。
- 普段職場で日本人と接する機会があるので、日本人の友人が多い。
- 日本人との交流は、日本語の先生やアルバイト先、買い物をするときくらいしかない。
- 日本人と暮らしている。

### 交流の手段

- 日常生活の中で国籍を問わない自然な友達作りがしたい。
- 国別のものを教え合うより、何かのテーマや課題について、一緒に考える交流をしたい。
- 農作業体験や小学校訪問、普段馴染みの薄いことを一緒にできる機会があると良い。
- ビアガーデンやスポーツなどのイベントを通じた交流をしたい。



- 映画やドラマのワンシーンの翻訳、歌の意味、ダンスの意味などの学びを通じた交流会がいい。
- 日本の祝日は外国人にとっては意味がよくわからないことが多い。祝日の過ごし方を伝えるようなイベントがあると良い。
- 言葉が得意でなくても集まりやすいので、料理を通じた文化交流がいい。
- 同じ興味を持っている人が集まる場があるとよい。例えば週に 1 回何かのテーマでイベントを行うなど。
- 趣味を通じた交流をしたい。

## 第 2 回

7月30日（土）外国人市民14名、日本人市民17名

### テーマ1／外国人市民の困りごと、不安

#### 行政

- 役所の手続きは日本人でも戸惑うことがある。外国人なら余計大変。
- 役所からの通知がすべて日本語で、接種予約や接種証明などの手続きが大変だった。
- 札幌は東京や大阪などと比べ、公共の表記に英語が少なく不便に感じることがある。
- 外国語表記といっても英語のみだと英語がわからない外国人が困る。
- 書類の様式が外国文化に適さないケースがみられる（ミドルネームの欄がないなど）。
- 適切な窓口や申請書を見つけることが難しい。特に行政手続き特有の文言が難しい。

#### 言葉

- 病気になった時、病院を受診した時の意思疎通が大変。
- 電車やレストランのメニューは漢字表示しかなく、理解しにくい。
- 日本語ができないと、あまり仕事も見つけれない。
- 大人向けの無料の日本語教室はどこにあるか、情報がわからない。
- やさしい日本語がわかりづらい。

#### 差別・偏見

- 出身国ごとにステレオタイプの押し付けがある。
- 日本人は外国人への差別意識（特にアジア・ASEANの人）を持っていると感じている。
- 新規口座の開設を拒否されたり、日本人より開設手続きの期間が長くなったりすることがある。

#### 教育

- 途中から来日する子供への支援があまりない。入学手続き等がわからない。

#### 日常生活

- 食べ物に制限がある人にとっては、成分表示が分からないと困る。
- 外国人に部屋を貸してくれないオーナーがいると聞いたことがあり、アパート探しが大変。
- 家を借りようとしたとき、住所が必要と言われ、とても困った。
- 生活上のルール（ゴミ捨て他）がわからない。
- 食べ物に制約が多い外国人は買い物難しい。

- 地震で何が起こるのか知らない。どう行動したらいいのかわからないので不安。
- 片言の日本語しかできない人は日本人の友達が作りにくい。
- 出産などの情報が少ない。
- 電車の発車時刻表がよくわからない。
- 何が違法行為かわからない。来たばかりの外国人には不安。
- 事故や事件に巻き込まれたときに、警察や病院などへの対応が外国人は困難。
- 外国語や専門知識を有する外国人の就職先を確保するのが難しい。
- 日本で重視される固有のルールや文化がわからず戸惑うケースもあるのではないかな。
- 外国人と日本人の交流機会が少ない。どこから情報をもらえるかわからない。
- 具体的な場面別の日本の生活のルールはわからない。

## テーマ2 / 日本人市民と外国人市民が共に協力し築く地域社会

### 相互理解・意識啓発

- 人は皆、個性があることを前提に考える必要がある。
- 日本人、外国人ともに「オープンマインド」が重要。心を広く持って、物事に接するとよい。
- 他国から来た人の文化や思考が自分と異なるのは当たり前だと理解して、相互に尊重することが共生に繋がると思う。
- 日本でもっと英語を勉強できる機会が増えたらいいと思う。
- 北 24 条や行啓通など、昔は商店街でイベント開催などしていた。こういう場が増えることで、外国人が日本社会で共生していく足がかりになると思う。
- お互い後悔しないように、常識に基づいてストレートに言うことが必要。
- 日本人もやさしい日本語を学ぶ必要がある。外国人に正しく伝わるようなやさしい日本語を学ぶ機会があったらいい。
- 外国人が日本語や日本文化を学ぶ必要がある。
- 高齢者の活躍の場として日本語教育を含めて外国人サポートができる仕組みができるとよい。
- 日本人が外国人の文化を理解するという習慣が身に着くとよい。
- 札幌では外国人＝観光客となり一緒に暮らす意識をもちにくい。
- 学校教育では、外国語のみならず、外国の文化を教える必要がある。
- ルールがわからず困っている人に対して当事者意識を持つことが必要である。
- 日本の義務教育における外国意識の啓発が大事。

- 小学校の授業で外国人に外国の文化を紹介してもらおうと良い。

### 交流活動

- 日本人と外国人の双方が参加する多国籍イベントの開催や定期的な交流会が必要。
- 情報を集約するようなサイトが必要。
- 近所に知り合いができると安心材料になる、町内会の役割が重要。
- 似たような職業、趣味、ママ友等、共通することがあって自然な友達づくりができる交流会を開催するとよいと思う。
- 外国人が日本の子供に外国語を教える機会があると良い。
- 北海道の食材を使った外国の名物を作る取組があってもいいのではないか。
- 外国人が市に貢献できるチャンスを作ると良い。
- 国際プラザのような場所を各区で増やすのはどうか。
- 各地区センターに「異文化サロン」を開催すると良い。
- 外国人が利用できる NPO やボランティア団体の情報発信が重要。
- 外国人の生活エリア・コミュニティと外国人をつなぐ人や組織があるとよい。
- 外国人に友達ができれば、困ることが自然に解決できるので、友達作りが大切。

## テーマ3 / 多文化共生社会の実現に向けた札幌市の取組

### 手続き関係

- 区役所で窓口サポートスタッフを配置してほしい。
- 札幌市の手続きフォーム、ホームページ、手紙は日英併記で書いてほしい。
- 外国人が家を借りるときの保証機関を作ってほしい。
- ボランティアの制限を緩和してほしい（外国語でも可や手続きが非平日でも可など）。
- 手続きの書類や通知を多言語化にしてほしい。
- 市の中心の目立つ場所の1階に外国人向けの案内所を設置してほしい。
- 外国人に向けた情報案内を増やしてほしい。外国人向け専用就職サイトがほしい。
- 外国語対応サービスセンターや外国人版「こども110番の家」を設置してほしい。
- 外国語の対応ができる職員がもっと必要。
- 多言語表記の看板を拡充してほしい。
- 公的機関における英語ができるスタッフを拡充してほしい。
- 札幌市の広報誌に外国語ページ（もしくは訳）を追加してほしい。特にイベント情報。
- 区役所の窓口職員の研修が重要。言語力を上げることでなく、外国人対応マニュアル

ルの徹底・研修を行ってほしい。

- 生活の困りごとを相談できるようなソーシャルワーカーの存在をもっと発信してほしい。
- コンビニの SOS ネットワークのように、情報を教えてもらえる場所を増やしてほしい。
- 寒さ対策の資料を作成して、外国人に配布してほしい。
- 外国人の家の賃貸や銀行の口座開設等への支援策として、関係機関に依頼文を出してほしい。
- 日本に初めて来た外国人にボランティアを派遣してほしい。

### 意識啓発・市民交流

- 外国人用の相談窓口に関する情報を日本人市民に徹底的に周知してほしい。
- 外国人と日本人が交流できる場を設置してほしい。
- 世代や国籍にとらわれず交流ができる場所を設置してほしい。
- 多文化共生の教育について、特別授業（出張事業）という形で小・中・高へ伝えに行してほしい。
- 外国人の力を借りて小中学生へ意識を高めるイベントなどを開催してほしい。
- ALT による授業を小学校 1 年生からに繰り上げ、外国文化に触れあえる機会を低学年のうちから提供してほしい。
- 仕事をしている外国人も通いやすい日本語教室を開催してほしい。
- 札幌に来て 1 年目の外国人に対し、格安で公共交通機関が使えるパスを配布してほしい。
- それを通して、外国人に札幌をもっと知ってもらえる機会になれるかもしれない。
- 札幌又は北海道の特産物と特定の国とのコラボをしてほしい。
- メディアを活用し、外国人へのインタビューを発信してほしい。
- 中学校区単位で地域内の外国人と国際交流に関心をもつ住民とが交流できるイベントを開催してほしい。
- 今回のような交流の場を定期的に提供してほしい。
- 外国人と交流するメリットをもっと日本人市民に周知してほしい。






(3) ワークショップの参加募集チラシ

SAPPORO

こくさいこうりゆう たぶんかきょうせい  
国際交流・多文化共生

しみん  
市民ワークショップ

をします!



～ワークショップをする時間・人数～

かいめ がいこくじんしみん かた  
1回目 外国人市民の方のみ (15人)

ねん がつ にち どようび  
2022年7月2日 (土曜日)

じ じかん  
14時から2時間くらい

かいめ がいこくじんしみん かた  
2回目 外国人市民の方 (15人) と  
にほんじんしみん かた  
日本人市民の方 (15人)


ねん がつ にち どようび  
2022年7月30日 (土曜日)

じ じかん  
14時から2時間くらい

さんか かた ねん がつ にち きんようび  
参加できる方は2022年6月17日 (金曜日)

までに、申し込んでください。  
申し込みのやり方は、裏に書いてあります。

※ ワークショップは18歳以上の方が参加できます。  
ワークショップは日本語でします。



さっぽろ  
01-824-22-1115  
R4-2-020

## 市民ワークショップについて

札幌市では、国籍や民族にとらわれず誰もが活躍できる共生社会づくりを進めるため、令和5年度中を目標に「国際交流」と「多文化共生」に関する基本的な目標と施策の方向性を示す「(仮称)国際交流・多文化共生基本方針」を策定します。

この方針をつくっていくにあたり、市民のみなさまが考える「国際交流」・「多文化共生」を反映していきたいと考えています。今回の市民ワークショップでは、外国人市民の方・日本人市民の方に、これからの札幌市の「国際交流」と「多文化共生」はどうあればよいか?ということをも、自由に!お話をさせていただきます。

「国際交流」・「多文化共生」に関心のある方、これらのことについてみなさんがどう考えているのか気になる方、、、などなど、一緒にお話をしてみませんか??みなさまのご参加をお待ちしています!

	第1回目	第2回目
日時	令和4年7月2日(土) 14:00 ~ 2時間程度 (開場 13:30)	令和4年7月30日(土) 14:00 ~ 2時間程度 (開場 13:30)
参加対象者	18歳以上の外国人市民の方 15名程度 ※第1回目・第2回目 ともにご参加いただける方	第1回目にご参加いただいた 18歳以上の外国人市民の方15名程度 及び 18歳以上の日本人市民の方15名程度 (計30名)
	※ 応募者多数の場合は、抽選により参加者を決定する場合があります。	
場所	未定(札幌市役所本庁舎又は地下鉄大通駅徒歩圏内の場所を予定しています) 参加者の方には場所が決まりましたら別途ご連絡いたします	
参加費	無料(交通費の支給はありませんが、1000円分の金券を謝礼としてお渡しします)	
備考	本ワークショップは対面方式での開催を予定していますが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、開催手法の変更又は開催を中止する場合がございます。	

## 参加申し込み用紙 募集締め切り 令和4年6月17日(金)

ふりがな		電話番号	
氏名		Eメール	
国籍		年代	<input type="radio"/> 10代 <input type="radio"/> 20代 <input type="radio"/> 30代 <input type="radio"/> 40代 <input type="radio"/> 50代 <input type="radio"/> 60代 <input type="radio"/> 70代以上
住所	〒 - -		
備考	※ワークショップへの参加に関して特段の配慮が必要な方はご記入ください。		

※ ご記入いただいた個人情報は、厳正に取り扱いの上、ワークショップの実施目的以外には使用しません。

- 申込方法
- ① 本申込用紙を下記問い合わせ先まで持参、郵送、FAXにて提出
  - ② 上記の内容を記載の上、[kokusai@city.sapporo.jp](mailto:kokusai@city.sapporo.jp) まで、Eメールにて提出
  - ③ 下記二次元コードをスマートフォン等で読み込み、リンク先のフォームに入力し送信

【お問い合わせ先・参加申し込み用紙提出先】

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎10階 札幌市国際部交流課

TEL: 011-211-2032 FAX: 011-218-5168 E-Mail: [kokusai@city.sapporo.jp](mailto:kokusai@city.sapporo.jp)

URL: <https://www.city.sapporo.jp/kokusai/policy2023-workshop.html>

こちらの二次元コード先のフォームからも参加申し込みが可能です! ➡



# 5

## パブリックコメント

### 1 実施概要

#### (1) 意見募集期間

2023年（令和5年）12月22日（金）から2024年（令和6年）1月26日（金）まで

#### (2) 意見用紙の配布・公表場所

札幌市総務局国際部交流課（市役所本庁舎10階北側）、札幌市役所2階市政刊行物コーナー／1階パンフレットコーナー、地下鉄大通駅ふれあいパンフレットコーナー、札幌国際プラザ、札幌留学生交流センター、札幌国際交流館、各区役所・区民センター・まちづくりセンター、市ホームページ

#### (3) 意見の提出方法

WEB（ホームページ上の意見募集フォーム）、郵送、持参、FAX、電子メール

### 2 実施結果

#### (1) 提出方法別内訳

提出方法	WEB	郵送	持参	FAX	電子メール	合計
提出者数	18人	0人	1人	0人	3人	22人
意見件数	52件	0件	3件	0件	27件	82件

#### (2) 年代別内訳

年代	19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	合計
人数	0人	1人	3人	3人	6人	7人	2人	22人

#### (3) 居住区別内訳

区	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	合計
人数	8人	3人	5人	3人	1人	1人	0人	1人	0人	0人	22人

### 3 意見に基づく当初案からの変更点

該当部分	本文【修正前】	本文【修正後】
<b>第4章</b> <b>5つの目標における施策の方向性</b> ・目標1-② 日本語教育の推進 外国にルーツを持つ子どもなどへの日本語教育（P34） ・目標2-② 教育機会の確保 学校における日本語の指導・支援（P40） ※再掲	札幌市立星友館中学校（公立夜間中学）及び札幌市立大通高校において、外国人在校生に向けた日本語指導を実施するなど、支援体制の充実を図ります。	札幌市立星友館中学校（公立夜間中学）及び札幌市立大通高校において、引き続き外国人在校生に向けた日本語指導を実施し、支援体制の充実を図ります。

※全ての意見の概要と、それに対する札幌市の考え方については、下記ホームページで公表しています。

URL <https://www.city.sapporo.jp/kokusai/policy2023-publiccomment.html>



